

# 事故報告書

フルーツ・シャトーよいち

フリガナ			① 男 女	要介護 4	移動	<input type="checkbox"/> 独歩 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 杖歩行 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
本人氏名	●●●●● 様		98 歳						
報告者	●●●●●				発生(発見)日時	平成26年12月25日(木) 08:00 分頃			
場所	<input type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> ホール <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> 拠点フロア <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 送迎車内 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
状況	<input type="checkbox"/> 転倒 <input checked="" type="checkbox"/> 転落 <input type="checkbox"/> 誤食 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 誤薬 <input type="checkbox"/> トラブル <input type="checkbox"/> 単独外出 <input type="checkbox"/> 介護中 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
	<p>ダンと言う物音とともに他入居者の「転んだんじゃない?」と言う声が同時に聞こえ食卓の方を見ると食卓テーブル横に額と両手、両膝をついた状態で転落しているのを発見する。車椅子は食卓と並行になりフットレストは上がりストッパーはかかっていた。靴ははいていた。職員2名で介助し車椅子に座って頂く。どうしたのか尋ねると「エプロンが落ちたから拾おうと思ったら落ちた」と話される。</p> <p>08:35 ご家族(長男)へ電話にて謝罪、了承を得る          09:40 施設長、施設長補佐へ口頭にて報告する          09:50 医務へ口頭にて報告する          11:20 リスク委員へ口頭にて報告する</p>								
症状	<input type="checkbox"/> 無傷 <input checked="" type="checkbox"/> 表皮剥離 <input type="checkbox"/> 擦過 <input checked="" type="checkbox"/> 切傷 <input type="checkbox"/> 内出血 <input type="checkbox"/> 火傷 <input checked="" type="checkbox"/> 腫れ <input type="checkbox"/> 変色 <input type="checkbox"/> 熱感 <input type="checkbox"/> その他 ( )					部位	額および右手首		
	額に腫れと1cm程の切り傷、右手首に1cm程の皮膚剥離あり出血見られる。その他は症状見られず痛い所はないと話される。								
対応	<input type="checkbox"/> 様子観察 <input type="checkbox"/> 湿布 <input checked="" type="checkbox"/> 冷却 <input type="checkbox"/> 吐かせる <input type="checkbox"/> 吸引 <input checked="" type="checkbox"/> 止血 <input type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 出血箇所に絆創膏、腫れの部分に冷却シートを貼る。								
バイタルサイン	体温	35.5℃	血压	103 / 66 mmHg	脈拍	75 回/分	SP02	%	計測時間
要因・原因	<input checked="" type="checkbox"/> 見守り不足 <input type="checkbox"/> 知識・技術不足 <input type="checkbox"/> ルール不遵守 <input type="checkbox"/> 情報不足 <input type="checkbox"/> 環境・設備 <input type="checkbox"/> 設備・点検不足 <input type="checkbox"/> 人為的問題 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <p>朝食のため離床して頂き食卓前に誘導していたが、エプロンを付ける介助はしていなかった。ご自分でエプロンを付けようとしたが落ちてしまいそのエプロンを拾おうと車椅子のブレーキを外しエプロンが落ちた方へ方向を変え、拾う為に前傾姿勢となり体重が前側にかかり車椅子の後輪が浮き転落した物と思われる。拠点は職員1名で対応しており朝食の盛り付けの為台所内の死角になる場所にいた為状況を確認できていなかった。また、入居間もない事もあり体調の回復とともに自分でやろうとする事が増えてきていると言う情報を共有できていなかった事も原因の一つと考えられる。</p>								
事故防止対策	食卓についた後はすぐにエプロンをする習慣がある事がわかった為、誘導後はすぐにエプロンを付ける介助を行なう。 ご本人に移動後は必ず車椅子のブレーキをかけて頂くよう声掛けを継続し行う。								
	加ファルスの必要性について		<input checked="" type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 必要						
家族への説明	平成26年12月25日(木)		説明方法		<input type="checkbox"/> 面会 <input checked="" type="checkbox"/> 電話	説明職員		●●●●●	
	家族氏名		●●●●●		続柄		長男		
	ご家族へ電話にて転落の件を伝え謝罪する。「怪我をしたとしてもそれは本人ができると思ってやった事だから、それは元気になった証拠なので気にしないで。これからもよろしくお願ひします」とのお言葉を頂く。								